

楽しかったニュージーランド

1年 須賀 達樹

僕は、ニュージーランドに行って思ったことがあります。それは生活の違いです。最初は、家の中は土足だったり湯船がなかったりと日本とはかけ離れた生活スタイルで、とても不安でいっぱいでした。なかなか慣れない生活で、会話もあんまり盛り上がりませんでした。しかし、休日には自分のためにお土産屋さんに行って、オススメ商品を紹介してくれたりしてとても親切なんだと思いました。学校でも、なかなか話せなかったけどバディを通じてたくさんの友達を紹介してくれたり、とても気軽に話すことができたくさん話すことができました。最初の授業で、行くところがわからなくなっていた時もゆっくりと丁寧に教えてくれたり、自分が行くべき教室まで案内してくれて、優しかったです。南極センターでは、厳しすぎる寒さを体験しカワイイペンギンたちを見ました。4Dの世界で水しぶきが飛んできたりと、南極のとっても大きな氷を映像で見たりして、陸に出ているのは全体の約3割程ほどしかないらしいと言っていた気がしました。ホーキーポーキーを、南極センターで食べて今まで食べたアイスの中で1番美味しかった気がしました。牧場では、何百頭もの羊をみてすごかったです。羊の毛を刈っているところを見たり、その羊の毛を触ったりしました。日本とは違ったバーベキューをして美味しいソーセージを食べました。すべてが初めての体験だったのでなにをやるにも不安でしたが、とってもいい体験になりました。また機会があったら行ってみたいです。

New Zealand で過ごした日々

1年 野々山 菜奈子

私は、中学の時から海外派遣に行きたいと思っていました。そして7月25日から8月4日までのニュージーランド派遣に行くことが決まりとても嬉しかったです。海外に行くことも初めてで、もちろん1人で英語を話して生活しなければならないという事も初めてでした。英語に対する不安や緊張よりも楽しみで自分がどこまで英語ができるのかが知れる嬉しさの方が大きかったです。

外国の学校で授業を受けることは、本当に貴重な経験になりました。日本の学校とは違うところがたくさんありそれを実際に体験できてよかったです。例えば、自分が各教科、各教室に移動して授業を受けることです。また、ダンスや音楽の授業は自分がそれぞれやりたい事を自由にやっていたことがとても印象的でした。日本ではやる事が決まっていてそれをみんなで一緒にやっていく事が普通なので、この違いも外国らしいなと思いました。また、ホストファミリーが作ってくれるランチボックスにもびっくりしました。事前からランチボックスについて教えてもらっていたけれど実際に渡してもらったときは本当に果物を丸々入れているんだと驚きました。ランチタイムに廊下に座ってバナナを食べていたり日本では見ない事なので新鮮でした。習慣の違いを体感できてよかったです。

japandisplay では、たくさんの子が日本の文化に触れてくれて嬉しかったです。私は書道をやって名前を漢字で書いてあげました。漢字を知ってもらえたと思います。自分の名前が漢字になっていて驚いていたり、喜んでくれていて本当に良かったです。

全てが初めての経験で、全てが貴重な経験になりました。また、私の一生の思い出のようになりました。改めてもっと英語を勉強したいと思いました。実際に外国に行って英語を近くで感じて今までよりも英語が好きになり、話せるようになりたいと思いました。

夏に経験した冬の思い出

1年 木下 陸

ニュージーランド派遣は、入学説明会で聞いた時からやりたいと思っていたので決めた時はとても嬉しかったです。同級生とも仲良くなれて、とても楽しみでした。初飛行機、初海外だったので、ニュージーランドについての時は全てが新鮮で、これからの生活への不安が少しありました。学校もとても広かったので、迷子になることもありました。英語は幼稚園の頃から習っていたので、リスニングに多少の自信はあったのですが、現地の人の言っている事が全くわからず、更に不安になりました。ホストマザーとの出会いは、会う日を間違えられるという衝撃的なものだったけれど、素敵なホストマザー(バレリーさん)と、韓国人留学生の金くんを迎えられ、不安が少しなくなりました。初めて現地で食べた夕食はとても美味しく、バレリーは料理がとても上手でした。私のバディが休みで、1人で学校生活を少し過ごしたのですが、優しい生徒が助けてくれたりと、素敵な体験ができました。マオリ族の挨拶はとても緊張しました。その日の夜、フィッシュ&チップスをお店に取りに行ったのですが、時速100km以上出していて驚きました。食後、バレリーと様々な話をしながら過ごしたのですが、私はその時間がとても心地よくて大好きでした。週末は息子と孫が遊びに来たのですが、懐いてくれなかったのが残念です。その後3人で海に行きました。海に行くのは久しぶりだったので楽しかったし、夕日が海に反射してとても綺麗でした。海沿いのカフェでホットチョコレートも飲みました。南極センターの体験では、皆で身を寄せあって寒さから身を守ったことが楽しかったです。羊と触れ合うこともなかなかないので、今回の留学でできてよかったです。最後、バレリー達とお別れするときは本当に悲しくて、号泣してしまいました。行く前までは来年はオーストラリアに行きたいと思っていたけれど、来年もニュージーランドに行きたいです。

雲外蒼天

1年 河野 愛実

2017年の夏休みはとてもいい経験ができました。ニュージーランドというとても自然溢れる国で英語を学ぶことができ、とてもよかったです。

私がこの高校を志望した理由の一つとして、ニュージーランド派遣に参加してもっともっと自分の英語力や他文化に触れて感じて見たかったこともありました。

行く前は同じクラスの子が誰もいなくて、知ってる人が部活の先輩くらいしかなくて、とても不安でした。しかし今、考えてみるとこの機会を通して新しい友達を作ることができたのだと思います。

ニュージーランドにいざ行くと、とても緊張しました。ホストファミリーが初めて迎えに来てくれた時のドキドキ感は今でも忘れないくらい緊張しました。

しかしこの緊張はすぐに消えてどんどん日が経つにつれて楽しくなりました。最初は英語が通じず先生に少し弱音を言ってしまいましたが、『慣れれば大丈夫ですよ』という先生の言葉でとても救われました。私は1番ニュージーランドの生活にビックリしました。朝は自分たちで朝食の準備、お弁当はお菓子など日本の手の凝ったお弁当という感じではなく、パックにポンポンポンと入れていく感じのものでした。丸々りんご一個はとても顎の骨が折れそうなくらい硬く、最後のお弁当のりんごを食べている時、自分、顎強くなったな…と感じました。

ニュージーランド人は寝る時間も早かったです。私のところは20時10分には子供たちは寝てました。面白い文化だなと思いました。

土日はショッピング、ニュージーランドで有名なニットボールの試合、海に行きました。道路を見てみると360度羊でした。動物園に行かないと見れないのでとても興奮しました。

私は今回の経験を得て、今の自分の英語力はまだまだだなと思いました。私はこれからもっと英語をたくさん学び、将来また英語ペラペラの状態でニュージーランドに

行きたいです。

大好きな場所

1年 橘 佑茉

私は初めての NZ 派遣を経験し本当に充実した素晴らしい 11 日間を送ることができました。

私たちは NZ に行く前に何回も集まってミーティングをし、時には会社の方や去年派遣された先輩方のお話を聞いて一緒に行く先輩、友達、そして先生 2 人という仲間と共に準備を重ねてきました。そして長時間の飛行機での旅を経て NZ に到着しました。今まで普通に通じていた日本語がこれからは通じなくなると考えただけで不安でしたが、見たことのない景色や大自然、日本とは全く違う環境に魅了されました。そして初めての外国の学校へ行きいよいよホストファミリーとの対面…。この時間が NZ に居て 1 番緊張したときです。心臓が壊れるくらいバクバクしていてその時は不安で仕方ありませんでした。でもホストマザーは私の下手な英語でも聞き、笑顔で聞いてくれたのでホッとしました。そして私のホームステイ先に韓国の高校生の女の子も留学していて、その子と話す時も英語だったので改めて英語は海外の人とコミュニケーションをとるための大切な言葉だなと思いました。色々な文化や環境の違いの中で学校に通い、生活しました。バディーと友達になって様々な授業を受け、ホストマザーの美味しい手作り弁当を食べ、ファームで羊の毛を刈るところを見たり、韓国の子と夕食の手伝いをしたり、土日で綺麗な海を見てロッククライミングをしたり…ここには書ききれない沢山の濃く充実した日々を送ることができました。不安もゼロになってきた頃 NZ の方たちとの別れの時間がきて、離れたくないもっと一緒にいたいという思いから泣いてしまいました。でも「またおいで」と言われ嬉しく何度も頂きました。

沢山の方に支えられ経験できた NZ 派遣。不安もあったけど、それ以上に貴重で楽しい一生の思い出ができて私は幸せです。そして何より仲間のみなさん。本当にありがとうございました！

ニュージーランド短期留学から

1年 前田 柚羽

ニュージーランド派遣は私に新しい発見と多くの衝撃を与えてくれました。

私は英語に興味はあったけど、とても苦手で選ばれた20人の中で一番しゃべれない
とっていたので初めて日本から離れて知らない場所に行くのはすごく不安でした。
でも今はニュージーランドに行って本当によかったと思っています。

出発の日、期待より不安のほうが大きくて怖かったけれど集合場所の駅で友達に会っ
て少し安心しました。頼りになる先輩、居てくれると安心する友達、この20人プ
ラス優しい先生たちがメンバーでよかったと思っています。初めて host family に会っ
て色々話したけれど話していることがわからなくてすごく辛かったです。電子辞書
を使ってなんとか話したけれど伝わったかどうか不安でした。でも私が話すのを待っ
てくれたり、ゆっくり話してくれたのは本当に嬉しかったしありがたかったです。
ニュージーランドに行って一番最初に驚いたのは就寝時間がものすごく早いこと
です。6時くらいに夕食をとり、終わったら少し休憩して8時くらいにはもう bed room
に行ってしまうました。私の hostfamily だけかと思ったけど次の日学校に行って友達
に聞いたら他の家もそうでした。それから学校で雨が降っていても傘をさしている人
がほとんどいませんでした。あとで聞いたら雨が降ってすぐ傘をさすのは日本人くら
いだということに驚きました。

学校は日本と全然違ってすごく驚きました。buddy はいたけどほとんど知らない人だ
らけでどうなるんだろうと思っていたけれどたくさんの人が声をかけてくれてすご
く暖かかったです。

ニュージーランドに行って hostfamily や bady に会えて本当によかったです。サポー
トしてくれた両親、祖父母、先生、友達、先輩本当にありがとうございました。

日本を出てみて

1年 安藤 紗羽

私はこの夏にニュージーランドに10日間の研修に行った。この10日間という短い間で得た事はたくさんあった。もちろん英語を聞き取る力、コミュニケーション能力など日本の生活では出来ない経験が出来た。その中でも1番漠然と自分の中に残った事は「国や人種は関係ない」という事だ。ニュージーランドに行く前はやっぱり現地の子たちと友達になるのは難しいんじゃないかと思っていたが、全然そんな事はなかった。逆に日本人たちよりもフレンドリーな子が多くて初対面でも楽しく話すことができた。英語を喋る事はあまり得意ではないが、片言でも一生懸命聞き取ろうとしてくれたり、ネットを使ってニュージーランドの有名な物を教えてくれたり、日本語を教えてくれと頼んでくれる子もいた。なかでも、バディーのシドニーという子とはとても仲良くできて帰国してからもSNSでメッセージを交換するほど親しくなれてとても嬉しかった。帰る時に、

プレゼントと一緒に「もしあなたと来年も会えるならもう一度バディーになる！」と言われ、来年も来たいという気持ちが一層強まった。

私はこの経験を、日頃の生活に生かしたいと思っている。この研修で色々な事に突っ込んで行く事が大事だと思った。分からない事や初めて見る物があつたらまず挑戦すれば得られる事が必ずあるという事を現地でたくさん経験した。ホストファミリーにこれはなにか、やってみてもいいかとたくさん聞いて、色々なところに連れて行ってもらった、それを聞かずに部屋の中に閉じこもっていたらなにも得れる事は無かつただろう。その事を身をもって体験することが出来たから、日本での生活もいつもより少し変えてみたいと思う。分からない事があつたら聞いてみたり、初めて会う人に話しかけてみたり色々な事に挑戦すれば学ぶ事は普通の倍以上になるだろう。

ニュージーランドでの10日間の経験は私の人生で大事な事を教えてくれた10日間になった。

ニュージーランドで過ごした日々

1年 尾辻 温

僕は、日本を出て日本以外の場所で学び、成長することが出来ました。ニュージーランドという日本とは違った良い文化を持っている国に行く機会を頂き、普段の生活では体験することが出来ない貴重な体験をすることが出来ました。

日本を出発する時は、30℃を超えた真夏日。メンバーの全員が半袖で汗をかいて集合しました。しかし、飛行機を乗り外に出るとそこに寒い冬が待っていました。さらに、ニュージーランドでは平屋が多く日本のように一戸建てが多くはありませんでした。空港から Kaiapoi High School に着くまでに多くの羊や牛が放牧されていて良いものを見ることが出来ました。

日本とニュージーランドの学校の雰囲気はどのように違うのだろうと思っていました。ニュージーランドの学校ではとてもオープンで、目が合ったりするとニコッと笑ってくれたり、困っていると向こうの生徒達が親切に教えてくれたりしてとても馴染みやすくて良かったです。

私がニュージーランドに行くにあたって一番心配していたのが、ホストファミリーとの会話です。何を話したら良いか、ずっと悩んでいました。しかし、あっさりと解消できました。ホストファミリーは優しく私を受け入れ、ニュージーランドのことを教えてくれたり、時には日本のことを聞いてきたり、様々なことを話すことが出来ました。同時に食事も心配だったのですが、どれも美味しい料理ばかりで心配していたのが申し訳ないくらい美味しかったです。

全てを通して良い体験しかなかったニュージーランドでの日々。その日々を通して英語を学ぶことができとても良かったです。ニュージーランドで過ごした日々を無駄にしないように日本での学校生活、私生活でニュージーランドの良い部分を真似して活かそうと思います。

温国知新

1年 白鳥 七音

七月二十五日、飛行機に二回乗りオークランド経由でクライストチャーチ空港へ行き、バスでカイアポイ高校に向かった。カイアポイ高校に到着後、八泊と九日間御世話になるホストファミリーと会った。一日目は緊張していたが、二日目からは自然に過ごすことができるようになっていた。おそらくホストファミリーの三人の子供達が遊んでくれたおかげだろう。遊びはチェスやトランポリン、スポーツのゲームなどをし、スポーツ漬けだった。思ったよりも色んなことができたおかげか、とても楽しく過ごせた。

カイアポイに滞在した八日間の内五日間カイアポイ高校に通ってはいたが、ホームステイの方が楽しく、学校の印象は薄い。しかし、授業は実技系が多く、組はない、内容が理解できている授業では自由などのことは覚えている。頭の中の想像、また映像によってつけられたイメージとは大分違い、これもまた新鮮で神聖な知識欲に吸収され、面白い経験または知識として残った。

ニュージーランドと日本では場所が違えば、国土面積も違い、土地の使い方も違う。けれども、人がいるということ、心があることなども同じであり、またそれが家族、友人、世界であっても同じことを知れた良いきっかけであった。そして日本に無駄が多いことを知れた良いきっかけでもあった。ニュージーランド語学研修旅行では、自分の発音の悪さと全てのものに対する新鮮な驚きと心の繋がり、海外の大学に入学するという選択肢などいろいろなことを得ると同時に、再確認できたものもあり、課題が増えた。面倒臭いところはあるけれど、行えば面白いことには違いない。

思い出を思い出で終わらせず、未来で活かすことが大切なのではなかろうか。

I love New Zealand

2年 安藤 璃音

私は7月24日から8月4日まで大宮西高校の派遣団の一員としてニュージーランドへ行ってきました。昨年につき2度目の訪問となりました。去年、楽しく過ごせたホストファミリーの元へ今年も運良くステイすることが決まり、高まった気持ちで出発しました。

長旅を終えて一年ぶりに着いた **kaiapoihigh** は去年と全く変わっておらず、校内を回りながら懐かしさが一気にこみあげ、色々なことが蘇ってきました。そしてついにホストファミリーとの再会の時間。私の目の前に懐かしい顔が飛び込み私達はハグをしあって再会を喜び合いました。

今年こそはホストファミリーともっと会話を深めたいと勇んできたものの、まだまだ聞き取れず上手な返答が出来ない自分がいて、ちょっと落ち込んだ初日となりました。去年と大きく違うところは、私のホームステイ先には私以外にも日本から1年間留学している同い年の "かれん" という女の子がいたことです。

去年はホストファミリーが車で学校まで迎えに来てくれて家にすぐに帰る生活だったため、私が派遣された **Kaiapoi** の街を歩くことはなかったのですが今年はいかれんと歩いて帰るため、マックやショッピングモール、公園などに寄り道をして、より深く現地のことやティーンズの放課後の過ごし方を知ることができました。

土曜日には去年と同様私のホストシスターのモリーのバースデーパーティーが行われ、娘の友達が集まり賑やかな夜を過ごすことができました。去年から私に優しくしてくれていたモリーの友達のケイトと今年も会うことができ去年と変わらず英語のできない私にも見ていた映画の説明や食べ物のことなどを簡単な英語で何回も優しく話しかけてくれました。お別れの時にはギュッとハグをしてくれてこういう時に改めて2回目のニュージーランドへこれぞ良かったと実感しました。

日曜日にはハマースプリングという温泉に行き雪が積もった山や雲一つない青空、

暖かい緑の絶景を眺めながら入る真冬の温泉はほんとうに気持ち良くて心も体も癒されました。

学校では今年はバディと同じ現地の授業を受ける機会が多かったため、kiwi(ニュージーランド人)と接する時間が増え新たなkiwiの友達も作ることができとても有意義な時間を過ごすことができました。間違った英語でも恥ずかしがらずにどんどん発言して相手に自分の思いを伝えることが大切だと思いました。

残りの高校生活では更に英語力を磨き国際交流に力を入れていきたいと思います。

まもなく西高を訪れるフランスの留学生にも日本での良い思い出を作って帰ってもらえるように心を込めておもてなしをしたいと思いました。

Fulfilling 11 days

2年 蓮見 光太郎

僕は7月25日から8月4日までの約11日間ニュージーランドの南島のクライストチャーチ近郊のカイアポイという街にホームステイに行ってきました。

ニュージーランドへは飛行機で12時間ほどで、飛行機からの景色はとても綺麗でした。

日本とは季節が逆でとても寒く朝は4度ほどでした。

日本とは全く違う文化で戸惑うことも多かったけれどとてもいい経験になりました。ホームステイ先のファミリーは父母お兄さんと妹さんの4人家族でした。みんなとても優しくてうまく伝えられなくても聞いてくれてとても嬉しかったです。

学校でのバディはBenという同い年ですごく友達の多い人気者でした。学校を案内してくれたり一緒に授業を受けたりして、仲良くなれてよかったです。今もSNSで連絡を取っています。

学校の授業では日本とは全く違うことだらけでかなり自由な感じでした。バディとその友達に日本語も教えられてとても楽しかったです。

校外学習では南極の寒さを体験したり羊にドリンクを飲ませたり普段は経験できないことを体験できました。

放課後はファミリーとテレビを見たり日本の話をしたりとたくさん英語で話すことができました。

土曜と日曜はクライストチャーチの街に連れて行ってもらい、いろんなところを案内してもらいながら買い物も写真もたくさん撮れました。

この11日間を通して僕はたくさんのことを体験し、たくさん大切な思い出ができました。ホストファミリーとの別れ際はもっと長くおいでと言われたのは本当に嬉しかったです。絶対にまた行きたいです。

11日間を無事に過ごせたのも引率の先生、快く行かせてくれた両親、一緒に行ってく

れた友達たち、ホストファミリー、バディー、カイアポイハイスクールの先生、生徒たち、旅行会社の人のおかげです。本当に感謝しています。これからもこの感謝の気持ちを忘れないように過ごしていきたいと思います。

経験

2年 小幡 理沙

私は夏休みを利用し、七月二十五日から八月四日までニュージーランドへ海外研修に行きました。

もちろん、言語は英語なので常に英語との生活でした。私は、英語は得意な方で模試やテストなども高得点を取り、自信がついていました。むしろ、自信というより自惚れていたという方が正しかったのかもしれない。

ホストファミリーと初めて対面した日、自分の英語を話す能力の低さを実感しました。自分の意思を話すどころか、相手の言っていることがわかりませんでした。なんとか、ジェスチャーを使って拙い英語をホストファミリーは真剣に聞いてくれました。ホストファザーから言われた心に残った言葉があります。

「あなたは英語が聞き取れないことも上手く話せないことも普通のことだ。だけど、理解できるまで何回でも聞きなおしなさい。」という言葉がありました。そこで、改めて諦めてしまってはだめだ。もっと自分から行動しなくては成長しないと思いました。

その次の学校生活でも、自分の言いたいことが伝わらないことにもどかしさを感じました。私のバディは、色々なことを聞いてくれました。バディだけでなく、そのバディの友達まで私に話しかけてくれました。東京から来たの？何歳？等、同じ質問を受ける中で最初よりも耳が慣れたと感じました。ニュージーランドへ行って関わることのできた全ての人に感謝したいです。文化も言語も違う国では、実際に体験して学ぶ事が多くありました。そして、これからも英語を、国際関係についてを学びたいとも思いました。このニュージーランド研修はとても短い間ではありましたが、心に残る、進路のきっかけにもなる経験になったと思います。

ニュージーランドで学んだこと

2年 坂井 美優

私は10泊11日ニュージーランドに海外研修に行きました。

2回目の研修で、去年ニュージーランドに行った時英語を話すことができずコミュニケーションを取れなかったことが悔しくてまた行こうと決めました。

ニュージーランドに行く前にたくさん英語を勉強しました。

去年より話せるようになったのか自信がなかったけど、ホストファミリーにたくさん話せるようになったねと言ってもらった時は本当に嬉しかったです。

また、去年と違うことは話せない言葉があった時、スマホのアプリなどで翻訳するのではなく、じぶんで電子辞書を使い単語だけを調べて文を考えたことです。

ニュージーランドに行ってからじぶんで考える力がすごく身についたと思います。

週末には観光では行けないような山に登って絶景を見たり、3回も海に連れて行ってもらったりたくさんの貴重な体験をすることができました。

去年よりもバディと一緒に過ごす時間が多く、授業に出ることも多かった学校では、少しでも英語を聞き取ろうと努力をすることができました。

この10泊11日の研修でたくさんを経験するとともに、たくさんすることに挑戦したと思います。

この経験を受験などに生かして、さらに英語の勉強を頑張りたいと思います。

そして、たくさん話せるようになったらまたニュージーランドに行きたいと思います！

ニュージーランドでの11日間

2年 今村 茉広

私は、11日間の海外研修に参加して、ニュージーランドでたくさんのことを学びました。学校では、バディと一緒に行動するので、現地の高校生と同じ授業を受けました。最初は英語が聞き取れず、苦労しましたが、バディがわかりやすい英語で説明してくれたり、理解するまでノートに書いて教えてくれたり、ジェスチャーで伝えてくれて嬉しかったです。カエアポイハイスクールは、フレンドリーで親切な人ばかりでした。私も、西高に留学生が来たら、積極的に話しかけたいと思いました。自分がしてもらったことを、次はしてあげる側になりたいと思います。ホームステイでは、最初は緊張と不安でなかなかコミュニケーションをとることができませんでした。しかし、ホストファミリーがたくさん話しかけてくれて、だんだん緊張がほぐれました。一緒にご飯を食べたり、リビングで話をしたり、週末に出かけたり、家族の一員として接してくれたのがとても嬉しかったです。そして、現地の人との関わりだけでなく、クラスの違う友達や男子、後輩とも仲良くなれたし、協力し合えたと思います。2回目の人が3人いたので、頼りすぎた部分もありました。集合場所や集合時間など、自分でしっかり把握して、もう少し自覚が持てれば良かったと思います。集団行動の大切さも学びました。たくさんの人に出会い、たくさん経験をした11日間で絶対に忘れません。ニュージーランドで学んだことを、今後の生活にいかしていきたいです。

My Second Time of New Zealand

2年 村上 凜

私は、去年もこのニュージーランドの海外研修に参加していて、英語のスキルを上げることができ、とても充実した生活を過ごすことができたので絶対にまた参加したいと思っていました。そのために英語をより勉強し今年の海外研修にも参加できるように準備してきました。

今回で2回目だったこともあり、去年に比べて不安はほとんどなくとても楽しみにしていました。

host family も去年と同じで host father の Mark、host mother の Shelley、14歳の host sister の Paris、3歳の host brother の Lleyton でした。

Christchurch に着いたらまず私たちが通う KAIAPOI High School に向かいました。

そこで1年ぶりに host family に再会して、嬉しくて思わずハグしてしまいました。

去年は全然喋れなかった Lleyton がたくさん喋るようになってとてもおどろきました。Shelley には英語が去年よりも上手になっているねと褒められました。

家に着いたら、おもちゃやお菓子などのお土産をあげました。すごく喜んでくれたのでとても嬉しかったです。

学校では去年と違い、ほとんどが buddy と一緒に受ける授業でした。授業の雰囲気は日本と全然違って、飲み物を飲んでいたりイヤホンをつけて携帯を使っていたりして最初戸惑って緊張していました。しかし、生徒の子たちがたくさん話しかけてくれたり優しくしてくれたので、緊張がほぐれて楽しく授業を受けられました。

lunch の時に外で遊んでいた男の子たちに日本のお菓子を配ってあげたらものすごく喜んでくれたのでうれしかったです。休み時間や lunch の時間になると毎日声をかけてくれたので仲良くなることができました。

週末は Paris の net ball の試合を見に行ったりお買い物をしに行ったり Lleyton とたくさん遊びました。

夜ご飯にはちらし寿司を作ってあげました。口に合うか不安でしたが「**very delicious!**」と言って美味しそうに食べてくれたので本当に嬉しかったです。

2 回目のニュージーランドで新たなことを経験していく楽しさや自信を持って自分から話す事の大切さなどを学び、様々な事を吸収してることが出来ました。去年に比べて **host family** ともたくさん会話できて、英語はもちろん心の面でも大きく成長できたと思います。貴重なこの経験をこれからの生活にどんどん活かして行きたいです。

貴重な体験

2年 浅野 晴海

私はこの 11 日間とても貴重な経験をたくさん積むことができました。まず最初にたくさんの文化を知ることができました。まず、出会った時の挨拶がハグや握手をしてとても印象的でした。日本人のおはようなどの言葉での挨拶やお辞儀などの挨拶に対してとてもフレンドリーで人と人の距離が近いことに魅力を感じました。また、集合時間にはぴったりに着くようにするため、ギリギリまでリラックスしているなど時間にルーズな面を知れました。対して日本は小学校から五分前行動を教えられていて早め早めに行こうという心配性な一面があります。だからこそ、家から学校までの車の送り迎えがギリギリすぎて私はとてもハラハラしていました。食文化は私のホストファミリーは主食が麺かフライドポテトで野菜が少なく、味の濃いものが好みで、和食とは程遠いもので少し戸惑いを感じましたが、外国感を体験できてとても楽しく、新鮮でした。食後には必ずホーキーポーキーというアイスクリームを食べていて、甘いものがほんとうに好きだなあと感じました。お土産やお菓子では必ずホーキーポーキー味があって、私がお土産に迷っている時には必ずホーキーポーキー味をお勧めしてニュージーランド人のホーキーポーキー愛にはおされました。ほぼどの家庭にもペットがいて、私のホストファミリーはウサギと犬を飼っていました。羊が有名ということもあるので、とても動物愛に溢れているんだなあ実感しました。

他にもたくさんの発見がありました。

私は異国の地にホームステイしたことでたくさんのことを学びました。ニュージーランドの文化に触れることで日本では当たり前と思っていたことが全く違って各国それぞれの価値観がありそれぞれの文化があることを改めて気づかされました。例えば日本の挨拶はお辞儀が一般的で謙遜や丁寧な日本人の良い一面が見られます。しかし、ニュージーランドはハグや握手が一般的でフレンドリーで人と人の距離が近い良い一面があります。日本人は遠慮しがちで失礼だと思ってしまうがちですが一線を越

えることが外国人が日本の文化を学んで真似てくれるように謙遜を保ちつつも握手などを取り入れてみるのも良いと思いました。

また、ホームステイの期間自分に不足な点がありました。勇気と新しいところに踏み込む力です。ホストファミリーやバディとの会話が少なく、話しかけられるのを待っている状態が多かったかなと思いました。このままであればせつかくの貴重な経験を与えてもらってるのにもかかわらず、無駄にして後悔の日々が続くだけです。回避、改善するためにも、自分のプライドや変な失敗を恐れる気持ちを捨て吸収していく気持ちを持つべきだと思いました。本当にこの海外派遣は大きな成長のきっかけになりました。関わってくれた全ての人に感謝したいです。

Another Sky

2年 井内 都

七月二十五日から八月四日までの十一日間、ニュージーランドへ海外派遣に行ってきました。

一年の頃は勇気が出ず、参加を諦めてしまいましたが、二年になった今自分がどれだけできるのか、力を知りたいと応募しました。

いざ、ニュージーランドに来てみると日本との違いに思わず笑いがこぼれました。

気温や言語もそうですが、街中に置いてあるものやお店の外装なども日本ではなかなか見られないものばかりでした。

私がお世話になったホストファミリーは、母と娘、そして共同所有者というなんとも不思議な家庭でした。ですが、とても温かく迎え入れてくれ、私の拙い英語も受け取ってくれる、すごく安心する家庭でした。

学校に通い始めると、またまた日本との違いに感嘆するばかりでした。洋画で見た映像がそのまま飛び出てきたかのような、そんな世界でした。授業を受けていても、先生の行動や生徒の仕草など、やはりどこか日本とは違うなあと思う所ばかりでした。私のバディになってくれたのは十五歳の女の子で、私より二つ年下にも関わらずとっても大人っぽい子でした。

学校以外にも、課外活動がいくつかありました。まずは南極センター見学、そして農場見学です。色々なイベントを体験するのも楽しかったのですが、同じく留学に来た韓国の留学生と仲良くなろうと必死でした。それも良い思い出です。

ニュージーランドには、言語や文化の違いもそうですが、人柄や時間の流れ方など細かなところも日本との違いが沢山ありました。

この派遣を通して、学べたことは沢山ありましたし、これから学ぶべきことも沢山分かりました。今回、自分のコミュニケーション能力や積極性などで悔いの残る所は多少ありますが、自分の力はまだまだだと、思い知ることが出来たのでとても良い勉

強になったと思います。

入学する前から夢見ていたニュージーランド研修に参加することが出来てすごく嬉しかったです。この経験をバネに、これからも色々なことに挑戦していこうと思います。

1

New & Zeal

2年 大河原 宏香

私は夏休みの 10 日間、ニュージーランドにホームステイしました。日本を立つ前は友達と海外やホームステイの話を膨らませていて、緊張も不安もありませんでした。しかし、ニュージーランドに近づくにつれて飛行機内がひんやりとしてきて、「ついに来たんだ」と実感していきました。そして、飛行機を降りてからは英語しか耳に入らなくて、不安になり始めました。「これからやっていけるのか」「自分の英語が通じるのか」などの不安が浮かんで消え、の繰り返しでした。バスでカイアポイハイスクールへ向かっている頃には、不安に加え緊張もしてきました。不安で不安で、「このまま帰ってしまいたい」と思ったほどです。しかし、この不安もホストマザーに会ったことで消えました。不安でぎこちない私を笑顔で受け入れ、抱きしめてくれたからです。話すスピードをゆっくりにしてくれたり、よく話しかけてくれたり、いつも笑顔で親切な人でした。私が「英語は話せないんです」と伝えると、「大丈夫よ。あなたは英語が上手だよ。話さないよりも、話すことにチャレンジすることが大事よ。」と言ってくれて、不安だった心がほっとしました。少し泣きそうにもなりました。このマザーの言葉で勇気が出て、「通じなくても話そう、伝えよう」と強く思うことができました。休日も、自分から「海に行きたい」「〇〇を買いに行きたい」と言うことが出来ました。自分の伝えたいことが相手に伝わると本当に嬉しかったです。「通じた！」と小さなことにも喜んでいました。しかし、それと同時に「もっと英語を頑張っていれば…」と思うこともありました。伝えたくても伝わらない。とても悔しかったです。また話していて、外国人は YES、NO がハッキリしている、表情が豊か、ジェスチャーが多いということに気づきました。どれも見習いたいと思うことばかりです。この 10 日間でホームステイする前の自分より、色々な面で成長できたと思います。毎日が初めてで、新しく、濃い、とても貴重な 10 日間でした。

My New Zealand Days

2年 栗原 詩織

ニュージーランド派遣の感想

私はニュージーランドはおろか海外にさえ行ったことがありませんでした。どんな感じなのか全く分からず英語も単語でしか話せないので通じるか分かりませんでした。ニュージーランドに着いた時も実感が湧かないままでした。でもカイアポイハイスクールの先生方や生徒の方と接していくうちにだんだん実感が湧いてきました。そしてホストマザーもとても優しい方でした。私が英語が分からず、ん？ってなっている時も言い方を変えて分かりやすく伝えてくれました。本当に感謝しています。私が特に楽しかったのはホストマザーと過ごした週末でした。私は行きたいところをなんて伝えればいいのか分からなかったのですがホストマザーの方からどこか行きたいところはある？とかこことかどう？と話しかけてくれていきたいところに行けました。本当に嬉しかったです。またホストマザーの孫にも合わせてくれました。とっても可愛かったです。またニュージーランドは自然が本当に凄かったです。特に私のホームステイ先の家はウッドエンドというところにあり、家の前には羊がいて夜にはとても星が綺麗で本当に感動しました。あんなに綺麗な星空が見れると思わなかったのでびっくりしました。学校ではバディーと同じ授業を受けに行きました。クラスでは日本人1人だったのでとても寂しかったですが理解できる授業もあったので自信に繋がりました。また南極センターや牧場にも行きました。南極センターでは南極の気温を体験してきました。牧場にはたくさんの羊がいました。羊の毛を刈るところをみたりたくさんの羊と戯れたり BBQ をしたりとても充実してました。もっと英語を勉強してもっと喋れるようになってまたニュージーランドに行きたいと思います！

世界を知った11日間

2年 篠崎 壮太

7月25日から8月3日までニュージーランドへ短期留学に行ってきました。初めは外国へ行くという実感があんまり湧かなくて、全然緊張しませんでした。最初に緊張したのはニュージーランドへついたあとの入国審査でした。英語聞き取れるかなあととても不安でした。実際にニュージーランドで歩いてみると日本語の標識もなく、日本語を話してる人も全くいませんでした。そしてニュージーランドは日本と違って冬なのでとても寒かったです。ホームステイ先は3人家族で母と父と赤ちゃんがいました。とても温かく迎え入れてくれたので自分もすごい安心しました。ホストマザーが作ってくれる食べ物は全部おいしかったです。ニュージーランドでの学校生活は生徒がみんな優しく、明るく接してくれました。授業も受けさせてもらったが、英語を話す速さが速すぎて何を言ってるか全くわかりませんでした。でもそんな授業でもニュージーランドの生徒はたくさん話しかけてくれてとても楽しかったです。学校が休みの日はホストファミリーがお買い物や海や博物館などに連れていってくれました。ニュージーランドはとても景色が綺麗で日本とは全然違いました。とても充実した休みでした。そして学校最後の日にはパーティーをしたり、ホストファミリーとの最後の夜はとても豪華な食べ物がでてきたり、本当にいい人たちばかりでした。国が違っても考えることは同じなんだなと思いました。ニュージーランドでたくさんの優しい人に出会えて、そしてたくさん友達ができて本当に嬉しかったです。また何度でも行きたいです。限られた22人の西高生と先生と一緒に行くことができ、一生忘れることがない思い出となりました。